

金沢の未来を創り この国を守り抜く

リアル即戦力

退路を断ち、身を投げ打って

新たな挑戦

- 政治家は、真に行政の現場を分かっこそこの国を動かし、変えることができる。行政の現場を知る私がやらねば。
- 金沢には「歴史」があり「今」がある。金沢をこの国の地方創生のトップランナーに。

比例も自民党

私の国づくり政策

01 コロナ終息対策

ワクチンの接種促進、感染症分類の見直しと医療体制の強化。国産治療薬開発。あたり前の日常を取り戻す！

02 アフターコロナ・経済回復

効果的集中的支援で雇用を守り、経済回復。家計金融資産(1,900兆円)の倍増で家計に豊かさを！

03 子育て支援

子育て支援の充実で若い世代に希望を。男女の育休取得の拡充と男性の家事・育児協力！

04 安全保障

安全保障環境に応じた防衛力の強化とクアッド(日米豪印)の進展。この国の安全・領土を守り抜く！

05 女性活躍社会

男女共同参画はあたり前。女性の能力開花がこの国を救う！

06 地方創生

仕事・資金・ひとを中央から地方に。能登・加賀・白山地域とともに金沢が発展。この国の元気は地方から！

07 SDGs(持続可能性)

2050年カーボン・ニュートラル(グリーン革命)の実現。DX(行政・企業のデジタル化)の実装！



自民党公認

小森 たくお

51歳

プロフィール

生年月日/昭和45年5月21日生まれ(51歳)

学歴/東大法学部卒
米プリンストン大学大学院修了

職歴/平成5年 大蔵省入省、以後

- 財務省(主計局主査、総合政策課企画室長)
 - 内閣官房(官房副長官秘書官)
 - 防衛省(会計課長)
 - 金融庁(総合政策課長)など、政府の中核で活躍
 - 国際通貨基金(IMF)エコノミスト(平成14年~17年)
 - 石川県総務部長・企画振興部長(平成23年~26年)
- 北陸新幹線金沢開業準備、IRいしかわ鉄道設立、地域活性化、県財政等、県政の要に携わる

小森 たくお

検索

金沢都市構想

歩いて暮らせるコンパクトシティ
都市デジタル化スマートシティ

金沢3つの共創



金沢港・駅西総合開発

- 金沢港を一級の国際物流拠点そして観光交流拠点に
- ◆国際クルーズ客船の誘致
 - ◆カーボンニュートラルポート事業
 - ◆大浜航路水深13m化
 - ◆金石・大野埋立用地の整備
 - ◆「金沢アリーナ」等 駅西開発

金沢北部地域開発

- 駅やインターチェンジを核とした、緑あふれる魅力的な北の拠点
- ◆海側幹線上の交通要所地等の開発
 - ◆いしかわ農業公園の開発
 - ◆IR花園駅(新駅)の新設と賑わいづくり

都心軸・新交通システム構想

- 都心軸の空洞化を食い止める切り札
- ◆中心市街地賑わい再生
 - ◆歩いて暮らせるまちづくり
 - ◆広域ネットワークの形成
 - ◆コミュニティバスの充実

兼六園周辺の「文化の森」構想

- 文化庁肝入りプロジェクト
- ◆国立工芸館から工芸美術を世界発信
 - ◆工芸館・県美・21美・歴博・能楽堂等による文化の共創

西金沢駅周辺整備構想

- ◆石川線のIRいしかわへの乗入れ
- ◆JT跡地に商業・医療・福祉施設

「金沢学園都市」構想

- 工学部跡地(小立野・崎浦)から生まれる学問・芸術の拠点
- ◆金沢美大の移転 ◆県立図書館の建設
 - ◆金沢美大跡地利用

有松周辺賑わい再生

- ◆新交通システム乗り継ぎ拠点化によるまちづくり

額・四十万賑わい再生

- ◆石川線各駅周辺を中心に再生